

「NP₁ / NP₂」における「初め」の意味解釈

1. 問題提起

- (1) 年の初めに顔合わせをしたい。
「初め」 = 「物事が始まったばかりの段階。最初。」... 時期解釈
- (2) 初めの年に顔合わせをしたい。
「初め」 = 「第一番目の物。多くの物のうち先の方のもの」... 順序解釈
- (3) a. *机の初めは丸い形をしていた。
b. 初めの机は丸い形をしていた。
- (4) a. 江戸時代の初めはよく飢饉が起こった。
b. *初めの江戸時代はよく飢饉が起こった。

「初めのNP」と「NPの初め」について加藤(1977)では、「初めのNP」を「NPの初め」の名詞化が進んだ形態だと述べているが、(3)(4)のようにNPによっては入れ替えが効かないものがある。

西山(2001)はノの前後の関係に着目して「NPのNP」の用法を分類している。その中で定義されている「非飽和名詞 NP₂とパラメータの値 NP₁」を用いて(3a)のような例の容認度が低いことについては説明することができるが、(4b)のような例の容認度が低いことについては説明できない。

- (5) 問題：「初めのNP」と「NPの初め」の使い分けに、そのNPの性質はどの程度影響を与えるのか。
- (6) 「NPの初め」では、NPの影響をうけて容認度や解釈に違いが出るか。
容認度：NPに時間幅がない(「NPの半ば」が不可能)場合容認度が下がる。
解釈：時期解釈のみで、NPによって解釈に変化はない。
- (7) 「初めのNP」では、NPの影響をうけて容認度や解釈に違いが出るか。
容認度：NPが限定され、かつ時間幅をもつ(「NPの半ば」が可能)場合容認度が下がる。
解釈：限定されないNPの場合順序解釈になる。限定されていても時間幅がない場合は時期解釈になる。

2. 「NPの初め」の場合

- (8) 時期解釈になる NP：時間幅をもつ NP
- トンネルの初めで車が止まってしまった。
 - 走りの初めは非常に良かった。
 - 江戸時代の初めはよく飢饉が起こっていた。
- (9) 容認度が低くなる NP：時間幅をもたない NP
- *自動車の初めは赤い色だった。
 - *花子の初めは礼儀正しい少女だった。
 - *先生の初めは優しい人だった。

3. 「初めの NP」の場合

- (10) 順序解釈になる NP：限定されない NP
- 初めのトンネルで車が止まってしまった。
 - 初めの走りは非常に良かった。
 - 初めの自動車は赤い色だった。
- (11) 時期解釈になる NP：限定されるが時間幅をもたない NP
- 初めの花子は礼儀正しい少女だった。
 - 初めのあなたはおとなしかった。
 - 初めの清見寺は小さな仏堂だった。
- (12) 両方の解釈をとる NP：限定されるか否かが文脈によって変わる NP
- 初めの先生は優しい人だった。
 - 初めの先輩は厳しかった。
- (13) 容認度が低くなる NP：限定され、時間幅をもつ NP
- *初めの江戸時代はよく飢饉が起こっていた。
 - *初めの今年に退院することが出来た。

参考文献

- 加藤主税 (1977)「2種の『はじめ』について：日英語比較研究」『Osaka Literary Review』16：1-10
北原保雄（編）(2011)『明鏡国語辞典』. 第2版, 東京：大修館書店
西山佑司(2003)『日本語名詞句の意味論と語用論』, 東京：ひつじ書房